

2024 年 9 月 12 日

## 2024 年 8 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

### <印刷用紙 A>

平判は仕事量の減少もあり、小ロット物件が中心で前年を下回った。

巻取についても学参、生損保、チラシ関連に大口物件がみられず前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 96.0% 巻取 71.3%）

再生紙平判は役所、官公庁関連の入札案件の減少により前年を下回った。

巻取も定期物件以外は目立った動きもなく前年を大幅に下回った

（前年比 再生上質平判 83.6% 再生上質巻取 67.1% 再生上質計 72.7%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 90.3%）

### <A2 コート>

平判は、旅行関連印刷物や大学関連のパンフレット、イベント関連等で一部動きがみられたが、不動産、製菓等で目立った動きが無かった。また雑誌関連の低迷、商印関連の電子化等の影響は続いており、グロス、マットは前年を少し上回ったが、マットは前年を下回った。

巻取は、不動産関連のチラシや雑誌・商印関連印刷物の落ち込みが続いており、グロス、マット共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 98.4% 巻取 80.6% 全体 94.7%）

### <A3 コート>

ドラッグストアやスーパー、食品デリバリー、金融・生損保などの定期やスポットの他、通販関連や展示会（招待券）のチラシ案件等に動きがみられ、平判、巻取共に前年を上回った。

（前年比 平判 106.6% 巻取 108.6% 全体 107.9%）

### <ノーカーボン紙>

巻取は歳末商戦申込書の次期ズレ及び数量減、生損保窓販帳票の減少。平判も生損保案件で目立った動きがなく、巻平共に大幅に前年を下回った。

（前年比 平判 78.0% 巻取 72.3%）

### <上質フォーム>

夏場の閑散期で自治体案件が少なく、民間の案件も損保系帳票で一部動きは見られたが、目立ったスポットもなく前年を下回った。

（前年比 85.8%）

#### <包装用紙>

包装紙全般的に動きが鈍い中、片艶晒は昨年とほぼ同等の動きとなった。また、特殊両更・色クラフトは役所向け封筒等で堅調な動きを見せ、昨年と比べ小幅な落ち込みに留まった。

純白ロールは堅調なスーパーマーケット向けと、お盆の生花向けに動きがみられた。

包装紙全体では 101.4%と昨年を上回った。

(前年比 101.4%)

#### <板紙>

コートボールは軟包装化、食品関連値上げ、地震・悪天候の為の外出自粛の影響でお土産需要も伸びず低調であった。

高板は出版需要の落ち込みがあったが、トレーディングカード、高級化粧品・医薬品等が好調であった。

特板は食品、菓子関係、土産物等が低調であった。

チップボールに関しては、貼合品から単紙への軽量化、菓子用貼箱・出版・エンタメ系の低調が続いている。全体としては前年を下回った。

(前年比 94.1%)